

結 果 報 告

大会名	平成28年度第68回日本ハンドボール選手権大会				
競技日	12月22日(木)	試合番号	セ	回戦	3
種別	男子・女子	会場	茨城県八王子・駒沢体育館		
Aチーム			Bチーム		
湧永製薬			大同大学		
得点合計	小計		小計	得点合計	
35	15	前半	12	23	
	20	後半	11		
		第1延長(前半)			
		第1延長(後半)			
		第2延長(前半)			
		第2延長(後半)			
		7mTC			

【 戦 評 】

記載者氏名

岡本典郎

前日にJHLチームを撃破した大同大学が再びJHLの湧永製薬に挑む。高い壁でシュートを跳ね返す湧永製薬に対し大同大学はディフェンスラインを上げて守る。湧永製薬は仁平のカットイン、稲毛のサイドや成田のロングシュートなどで順調に得点を重ねるが大同大学も三重のサイド、原田(一)と原田(竜)のミドルシュートが決まり五分の立ち上がりを見せる。15分を過ぎると湧永製薬の攻撃に勢いが増し谷村のロングシュートなどで20分までに11-8とリードする。しかしその後は大同大学GK横溝の再三の好セーブもあり1点ずつを取り合う引き締まったゲームになる。大同大学は前半終了間際に得た7mスローも原田(一)が確実に決め3点差のまま前半を折り返す。後半は立ち上がりから湧永製薬が稲毛、原の巧みなポストシュートや成田の豪快なロングシュートで38分までに6連続得点し21-12と突き放す。46分に湧永製薬が退場者を出すと大同大学は間瀬のサイド、カットインと速攻による高木の連取などで49分に6点差に戻し追撃態勢を整える。しかし54分過ぎの野村と矢田の連取から再びペースを掴んだ湧永製薬は最後まで攻撃の手を緩めることなく35-23で勝利を収めた。